



みずいろ

滋賀県PTA連絡協議会広報紙

82
 発行者 滋賀県PTA連絡協議会
 編集者 滋賀県PTA連絡協議会
 編集長 滋賀県PTA連絡協議会
 編集委員 滋賀県PTA連絡協議会
 印刷 滋賀県PTA連絡協議会
 発行所 滋賀県PTA連絡協議会
 〒520-0801 滋賀県彦根市千原町1-1-1
 電話 077-542-1111
 代表者 小林 宏行氏

PTA活動は楽しい広報紙から

講演

「楽しく作るPTA新聞」



岡山理科大学 広報室 参与 小林 宏行氏

滋賀県PTA連絡協議会広報研修会は、5月7日（土）に能登川公民館で開催されました。この研修会は、県内の各単位PTAの広報担当者が広報作りに関する技術や知識を豊富にし、よりよい広報紙をめざして開催されるもので、今年で13回目になります。

当日の参加者は100名を越え、研修会の開始前には、講師の小林先生からアドバイスを受ける熱心な広報担当者も見受けられました。

なお、講演に先立ち、広報紙コンクールの表彰式が開催されました。（広報紙コンクールの詳細は4面）

1 まず作業手順 しっかりと

みんなに読んでもらえる面白い紙面を作るために、企画、取材、文章、編集、印刷および配布の手順をしっかりとすることが重要です。

2 企画が勝負！ ワイワイガヤガヤ

昨年と一緒ではダメ、お知らせだけではダメ、学校行事の羅列だけではダメ。企画の際、みんなでワイワイガヤガヤおしゃべりすることも重要です。その中から多くのアイデアが生まれます。

3 取材はしっかりと

取材は現場に行かなければダメです。良い記事は歩いて来ません。頼んだ原稿を待つだけではなく、まずは粘りとこだわりを持って、現場に行かなければダメです。

4 文章は スバリ簡潔に

文章は簡潔に収め、情報量を多くします。そのため挨拶は極力短めにします。記事は本音でスッキリ書き、句点（。）は多く、5行で改行します。何行にも渡る文章は読者の読む気を低下させます。



5 インタビュー・ 座談会・アンケート

インタビュー・アンケートや座談会は紙面作りにも有効です。アンケートはデータが重要。収集したデータを分かりやすく集計し、コメントも忘れずに入れます。

6 見出しは 短く魅力的に

見出しは9文字くらいがベストです。パッと目を引くような見出しを考えましょう。見ればわかるような見出しではダメ。ユーモア感覚も重要です。



7 写真は 百万語に勝る

写真はなにより重要。たった1枚の写真が百行の記事より見事に出来事を表現してくれます。撮影の際は一歩前に出て、撮影したいものを大きく写しましょう。アングルを変えて何枚も撮影するのがコツです。

8 レイアウトは すっきり大胆に

レイアウト、カット見出し、見出し、写真、マンガ、イラスト、罫線、ハコモノを上手に活用しましょう。写真の配置を端にする例が多いのですが、写真はなるべく真ん中に配置します。



9 最後の関門 校正恐るべし

校正はしっかりと行います。些細な点も見逃さず校正するために、複数の



広報紙紹介

広報紙コンクールに応募された広報紙をいくつか紹介します。小林先生のイチ押しは4面に紹介されているので、ここでは広報委員長が独断で選んだイチ押しです。



広報かわにし

表紙のアイデアが最高。虹を駆け上がる子どもたちと会長、校長の挨拶が面白いです。



星の子

表紙がかわいいですね。親子で作るお菓子のレシピも面白いです。



うみ笛 湖笛

手書きの「学校をとりまくネットワーク」が見事と思います。地域ぐるみの様子が一目で分かります。



ひろの

運動会の記事ですが、練習の取材がすごい。パワーを感じます。

平成23年度第1回通常総会

改善案を盛り込んだ議案全てが承認

去る5月21日(土)、第1回通常総会を能登川公民館にて実施しました。

和田会長から、冒頭、県内単Pの善意の協力により被災地に向けて多くの義援金が集まったことが報告され、続いて、PTAという組織の人と人とのつながりが、子どものために有意義であること、県Pにおいては、市町それぞれ代表の集まりの中で、何が出来るかを考えていきたいとの挨拶がありました。

来賓の県教育委員会生涯学習課課長田中秀和様からもご挨拶を頂戴し、その中で、社会全体で子どもの育ちを支えるという観点から環境づくりには、保護者

の協力が必要として、PTA活動を支援していく旨を述べられました。引き続き、議長に奥村利樹様(大津ブロック)を選出し、議事の審議を行いました。特に、予算については、安全会費の引き下げや今後の保険料変動への対応、事務所費の計上を一般会計に移すなど、実態に則した改善案が盛り込まれたことが説明されました。そして、活発な質疑を経て、議案の全てが承認されました。

また、平成23年度の活動目標についても、昨年度と同様の「スローガン」と「具体目標」が説明され、引き続き取り組んでいくことが確認されました。

スローガン

楽しもう！夢と希望を育む子育てを語り合おう！親育ちのために

具体目標

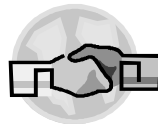
- *「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、食育と基本的な生活習慣の確立をめざそう。
- *虐待やいじめの防止に努めるとともに、自他の生命や人権を大切に活動を進めよう。
- *地域・関係団体との連携を密にして、子どもの安全確保に努めよう。
- *ケータイによる問題点を把握し、家庭内における適切なルールづくりに努めよう。
- *「びわこタイム」を推進し、豊かな自然に恵まれた郷土を愛する心を培おう。
- *単位PTAの充実・発展を図るために、市町P連を支援しながら、情報の提供と研修に努めよう。

多くの善意に感謝します。

会員の皆様にご協力いただいた東日本大震災義援金の募金活動ですが、現時点での滋賀県PTA連絡協議会からの募金累計金額は9,836,929円になりました。

寄せられた義援金は、(社)日本PTA全国協議会を通じて、被災された県および市のPTAに配分されました。

なお、この募金活動は継続していきますので、今後ともご協力をお願い致します。



編集後記

感動の出会いがPTA、だから楽しいPTA

私は会社の社会貢献のボランティアで小学校に訪問し科学実験を教えています。その際、多くの子どもたちとの出会いがありますが、サポートして下さる大人の方々との出会いもあります。平成19年島根県で、ある方との出会いがありました。

平成20年度の近畿大会は大阪府で開催され、特別講演はでんじろう先生の科学実験でした。私は大会関係者ではありませんでしたが、でんじろう先生のお手伝いをしたくて大会事務局にお願いし、お手伝いの一員に加えていただきました。その時に前述の方がおられました。1年ぶりの再会でした。彼は、でんじろう先生をサポートする会社の社員です。

私はダメ元で、でんじろう先生とお話できるようお願いし、それが叶いました。今から思うとかなり厚かましいことをしたと思います。でもひとつの出会いが次の大きな出会いに繋がる良い経験になりました。

この一年間、多くの出会いがありました。紙面では紹介できませんが、これらの出会いに感謝しこの編集後記を終えたいと思います。(O・Y)

*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起こったら…各単位PTAを通じ下記へご連絡ください。



AIU保険会社

取扱代理店 (株)アーク・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅林1-15-30 林ビル2階
TEL(077)527-6823 FAX(0120)527-606
(平日:9時30分~17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/>



地球の未来にできること。
マングローブ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひろがりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来に向けた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。
*「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」(1999年度~)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度~)

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

☎0120-868-100 午前9時~午後8時(平日、土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



育てたいのは
子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛
「いじめ防止標語コンテスト」開催
「エコキャップ推進協会」への支援
「がん健診企業アクション」への参加
「新日本フィルハーモニックオーケストラ」協賛
ほか

AIU保険会社

エイアイユー インシュアランス カンパニー

神戸支店

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3

問合せ: 078-360-2401 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

入賞おめでとう

- ◎幼稚園の部 優秀賞
 - 光星学園水戸幼稚園 「星の子」
 - 近江八幡市立八幡幼稚園 「すまいる」
 - 東近江市立長峰幼稚園 「つくしんぼう」
- ◎幼稚園の部 奨励賞
 - 光星学園ひかり幼稚園 「みどりの子」
 - 米原市立山東幼稚園 「げんきっこ」
- ◎幼稚園の部 努力賞
 - 湖南省市立石部南幼稚園 「NEW Smily」
 - 光星学園三雲幼稚園 「光の子」
- ◎小学校の部 優秀賞
 - 大津市立平野小学校 「ひらの」
 - 近江八幡市立金田小学校 「金小新聞」
 - 大津市立田上小学校 「たなかみ」
 - 東近江市立湖東第二小学校 「心と心」
 - 高島市立マキノ東小学校 「湖笛」
 - 守山市立河西小学校 「広報かわにし」
- ◎小学校の部 奨励賞
 - 長浜市立長浜南小学校 「七岡」
 - 彦根市立稲枝西小学校 「はえみ」
 - 高島市立青柳小学校 「藤影」
 - 栗東市立治田西小学校 「瑠璃」
- ◎小学校の部 アイデア賞
 - 草津市立笠縫小学校 「かさぬい和協」
 - 甲賀市立貴生川小学校 「明るい学校」
- ◎中学校の部 優秀賞
 - 大津市立栗津中学校 「あわづ」
 - 大津市立唐崎中学校 「はばたき」
 - 甲賀市立土山中学校 「Dear!」
 - 高島市立今津中学校 「学窓」
- ◎中学校の部 奨励賞
 - 滋賀大学附属中学校 「湖光」
 - 高島市立高島中学校 「おおとり」
 - 高島市立湖西中学校 「風車」
- ◎中学校の部 アイデア賞
 - 豊郷町立豊日中学校 「かけはし」



先生紹介は、1学期では、関心の大きい特集です。保護者にとっては担任の先生がどんな方なのか気になるところです。上の作品は、滋賀大附属中の『湖光』。
 「先生紹介」の見出しより「熱中時代」の方が目をひきます。先生方が中学時代に熱中されたエピソードをお聞きし、それをイラストにして組みあげた紙面づくりは抜群です。先生方のいきいきとした息吹が伝わってきます。

平成22年度滋賀県PTA広報紙コンクール

県内PTA新聞コンクールの審査会は4月23日に開催、左表の通り入賞作が決まりました。応募は幼稚園13園、小学校30校、中学校16校の計59校園。和田光生連P会長らが全作品に1点ずつ目を通し、内容・レイアウトなどについて審査しました。優秀賞に選ばれた小学校・中学校の作品は、日本PTA広報紙コンクールに推薦します。

レイアウト、一段とレベルアップ!

審査評

審査の基準は、まず企画です。子ども達の健やかな成長を願って学校と家庭、さらに地域にも輪を広げてみんまで見守っている活動ぶ



りをいかに紹介するか、運動会、体育祭、修学旅行など学校行事ばかりではPTA新聞とはいえません。家族の絆、食育、携帯電話など、様々な問題を取りあげて特集を組みアピ

ルすることが大切です。紙面づくりはまずアイデア、部員さん方、みんなでワイワイやりながら、ちよつとした思いつきを大切にして下さい。つぎはレイアウト、文章

ばかりでは読まれません。見出し、写真は思いきって大きく、イラストなども入れてメリハリのきいた楽しい紙面づくりを考えて下さい。「やるう」というチャレンジ精神も重要です。



光る広報部「取材」の熱意

PTA広報の記事から、錆びついて危険だった遊具のジャンゲルジムと鉄棒が見事にリニューアル！子ども達が安心して遊べる遊具によみがえりました。
 湖東第二小学校の広報部が1学期の紙面で、校内の危険箇所を取りあげ、すっかり腐食して使用不能になっていることをアピ

ール。学校側も行政と何度も交渉していますが、予算不足でなかなか実現しないことなどの実情を紹介しました。
 PTAが立ちあがり、会長さんのねばり強い交渉が実を結び格安の費用で二つとも改修、ピカピカの新しい遊具が完成しました。
 危険で使えなくなっていた遊具が再生され、大喜びで遊ぶ子ども達の楽しそうな表情が2学期広報の表紙をかざっています。

今年度はユニークな作品が、ぐんとふえました。特に、レイアウトは去年より一段とレベルアップ、読みごたえのある紙面がふえました。課題は特集の取り組みです。どんな企画をたてるか、お知らせ型からアピールする広報めざし、さらなる飛躍を期待しています。
 (審査員 岡山理科大学 広報室 参与・小林宏行)